

令和2年度第1回「善通寺市まち・ひと・しごと創生推進会議」 (書面開催) 結果

1 書面開催の概要

新型コロナウイルスの感染拡大について、令和2年度内の終息が見込めないこと、また、審議内容について、必ずしも対面での審議を要しないと思料されることから、書面での開催となりました。

2 報告事項に対する意見

①第1期善通寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるKPI (重要業績評価指標) について

- ・新型コロナウイルス感染の問題はなお続くでしょうから、様々な分野において大きな見直しや修正をせねばなりません。ただしばらくは状況を見定め、改めて抜本的な対応を図る必要があると存じます。
- ・婚活関連事業数がH30・R2とゼロだが、毎年コンスタントに実施するべき事業だと考えます。
- ・委員の年齢の範囲をもう少し幅広くしてほしい。
- ・若い人の意見をもっと取り入れるべきである。
- ・新型コロナウイルスによる影響は見通せないものの、当面の取組として第2期総合戦略を着実に推進することが大切。
- ・3月の現時点で国内観光客数の動態予測、インバウンド予測は相当に難しく、「回復には数年間かかる」との指摘もある。
- ・市の総合戦略への取組で、新たにスタートする「デジタル推進室」では、①新型コロナ関連情報、②観光客動態調査、③国の地方創生関連事業への影響について、最新情報を収集するとともに、政策提言と市民への情報発信を行うことを盛り込んで頂きたい。
- ・地域住民が支え合う新しい体制や住民と行政の新しい福祉を実現し、「支える」・「支えられる」から、「支え合う」社会・地域をつくる。
- ・「どんな地域に住みたいか」、「将来、どんな地域になったらいいか」、

住民が考え、参画した地域づくりに取り組む。

・子どもが安心して生活し、豊かに育ち、家族や地域から多くの愛情を受けることができる社会は、全ての人々にとって暮らしやすい社会である。

3 審議結果

①第2期善通寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について

SDGs（持続可能な開発目標）の基本理念である「誰ひとり取り残さない」社会の実現のため、「基本目標1～誰もが安心して暮らし、活躍できるまちを創る～」において、「(2) 災害対策の強化と防犯環境の充実」に「再犯防止に関する施策の推進」を追加します。

『承認：13、不承認：0 にて承認』

【意見】

特にありませんでした。

②地方創生推進交付金事業（観光地域づくり）について

国の交付金事業である「FOR AFTER 2023～善通寺市観光地域づくり～」について、令和3年度事業を別紙③（令和3年度地方創生推進交付金事業について）のとおり実施したいと考えております。

『承認：13、不承認：0 にて承認』

【意見】

- ・観光案内所を移動式にすることは、利用者のニーズにも合い、賛成です。
- ・観光情報発信強化事業や観光宣伝事業等の情報発信・宣伝事業には、駐屯地としても協力します。
- ・移動式観光案内所は、若い人にも受け入れられ、車で善通寺へ来る人にも対応できるので良い。
- ・KPIで見る限り、概ね市民の評価は得られる内容だと思います。